

會學濟經學大國帝都京

叢論濟經

號三第

卷五十二第

行發日一月九年二和昭

論叢

營業稅の課稅物件の地方分別難

法學博士

神戶 正雄

文化現象の凝集作用

法學士

恒藤 恭

純粹國家

法學士

作田 莊一

時論

獨逸社會民主黨の農政綱領

法學博士

河田 嗣郎

說苑

琉球の廢藩と日支兩屬關係の終末

法學博士

山本美越乃

植民及び植民地の意義

經濟學士

長田 三郎

雜錄

英領東アフリカの現状と其將來

經濟學士

田島 正雄

同盟罷業保險の現状

經濟學士

近藤 文二

八日市の起源と歸化人

經濟學士

菅野和太郎

地方財政と累進稅比例稅

法學士

沙見 三郎

法令

議院法中改正法律・震災手形處理委員會官制・公益質屋法施行規則・米及糠の輸入稅免除の件廢止

法 令

議院法中改正

法律第五十三號 (昭和二年五月二日)

第四十條ニ左ノ二項ヲ加フ

豫算案カ貴族院ニ移サレタルトキハ豫算委員ハ其ノ院ニ於テ受取リタル日ヨリ二十一日以内ニ審査ヲ終リ議院ニ報告スヘシ各議院ハ已ムコトヲ得サル事由アルトキハ議決ヲ以テ審査期間ヲ延長スルコトヲ得但シ其ノ期間ハ通シテ五日ヲ超ユルコトヲ得ス

〔參照〕

明治二十二年二月十一日 法律第二號議院法抄錄

第四十條 政府ヨリ豫算案ヲ衆議院ニ提出シタルトキハ豫算委員ハ其ノ院ニ於テ受取リタル日ヨリ二十一日以内ニ審査ヲ終リ議院ニ報告スヘシ

震災手形處理委員會官制

勅令第百五十五號 (昭和二年六月三日)

第一條 震災手形處理委員會ハ大藏大臣ノ監督ニ屬シ其ノ諮問ニ應ジ震災手形善後處理及震災手形損失補償ニ關スル事項ヲ

調査審議ス

第二十五卷 四六六 第三號 一六六

第二條 震災手形處理委員會ハ會長一人及委員十二人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

第三條 會長ハ大藏大臣ヲ以テ之ニ充ツ

第四條 委員ハ左ニ掲グル者ヲ以テ之ニ充ツ

一 大藏部内高等官

二 貴族院議員

三 衆議院議員

四 日本銀行總裁及副總裁

五 日本銀行理事

前項ノ委員ハ第四號ニ掲グル者ヲ除クノ外大藏大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第五條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ大藏大臣ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

第六條 震災手形處理委員會ニ幹事ヲ置ク幹事ハ大藏大臣ノ奏請ニ依リ大藏部内高等官及日本銀行職員ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第七條 震災手形處理委員會ニ書記ヲ置ク書記ハ大藏部内判任官及日本銀行職員ノ中ヨリ大藏大臣之ヲ命ズ

書記ハ會長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

公益質屋法施行規則

内務省令第三十四號 (昭和二年七月十六日)

第一條 公益質屋法第一條第二項ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ

左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添付スヘシ

一 名稱

二 業務所ノ位置

三 業務所及其ノ附屬建物ノ規模、構造

四 業務開始ノ豫定年月日

五 事業方法

六 財産目錄

七 定款又ハ寄附行爲

第二條 市町村又ハ公益法人公益質屋ノ業務ヲ開始セントスル

トキハ業務開始ノ日前三十日迄ニ其ノ旨地方長官ニ届出ツ

ヘシ

市町村前項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲ストキハ前條第一號乃至第

五號ニ掲クル事項ヲ併セテ届出ツヘシ其ノ事項ヲ變更セント

スルトキ亦同シ

第三條 市町村又ハ公益法人前條第一項ノ届出ヲ爲シタルトキ

ハ直ニ名稱、業務所ノ位置及業務開始ノ年月日ヲ公示スヘシ

其ノ事項ヲ變更セントスルトキ亦同シ

第四條 市町村又ハ公益法人公益質屋ノ業務ヲ廢止セントスル

トキハ業務廢止ノ日前三十日迄ニ其ノ旨地方長官ニ届出ツ

ヘシ

第五條 質置主一切辨濟ヲ爲ス場合ニ於テハ先ツ之ヲ元金ニ充

當ス

一部辨濟アリタル爲返還シ得ヘキ質物ノ部分ヲ生シタルトキ

ハ之ヲ質置主ニ返還スヘシ

第六條 公益質屋法第十一條第一項ノ規定ニ依リ流質物ヲ賣却

セントスルトキハ競争入札ノ日前五日迄ニ左ノ事項ヲ公告

スヘシ

一 入札ニ付スル物品ノ種類及員數

二 契約條項ヲ示ス場所

三 入札ノ場所及日時

四 入札保證金ヲ徵スルトキハ其ノ金額

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ隨意契約ニ依リ

流質物ヲ賣却スルコトヲ得

一 競争入札ニ付スルモ入札ナキトキ

二 競争入札ニ回ニ及フモ入札價格カ豫定價格ニ達セサルト

キ

三 流質物カ競争入札ニ付スルヲ適當トセザルトキ

四 競争入札ニ付スルヲ著シク不利ト認ムルトキ

第八條 流質物毀損變質其ノ他ノ事由ニ因リ賣却スルコトヲ得

サルニ至リタル場合ハ之ヲ廢棄スルコトヲ得

第九條 公益質屋法第十三條第一項ノ手数料ハ流質物ノ賣却代

金ノ百分ノ五トス

第十條 公益質屋法第十三條第二項ノ場合ニ於ケル各流質物ニ對スル代金ハ賣却代金ヲ其ノ質入當時ニ於ケル評價格ニ按分シテ之ヲ定ムヘシ

第十一條 公益質屋ニ備付クルコトヲ要スル帳簿ノ様式ハ廳府縣令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 質札及通帳ニハ其ノ番號、質置主ノ住所、氏名及公益質屋ノ名稱ヲ記載シ主務者記名捺印シ質契約ヲ爲ス毎ニ貸付金額、質物ノ種類、員數、番號及質入年月日ヲ記入スヘシ其ノ様式ハ廳府縣令ヲ以テ之ヲ定ム

質札及通帳ニハ申出ニ依リ質契約ニ關シ通知ヲ受クヘキ場所ヲ記載スルコトヲ得

第十三條 質置主質札又ハ通帳ヲ亡失毀損シタルトキハ其ノ番號、借入金額、質物ノ種類、員數及質入年月日ヲ記載シ保證人ノ連署シタル書面ヲ以テ質札又ハ通帳ノ再交付ヲ請求スルコトヲ得

質札又ハ通帳ノ再交付ヲ爲サントスルトキハ其ノ質札又ハ通帳ノ番號ヲ一週間公示スヘシ

第十四條 公益法人公益質屋ノ業務ニ關シ規程ヲ設ケントスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ其ノ變更ヲ爲サントスルトキ亦同シ

第十五條 本令中市町村ニ關スル規定ハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ町村ニ準スヘキモノニ之ヲ適用ス

附 則

本令ハ昭和二年八月十日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ公益質屋ヲ經營スル市町村又ハ公益法人ハ本令施行後一月以内ニ第一條第一號乃至第三號及第五號ニ掲ケル事項竝ニ業務開始ノ年月日ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

〔參照〕

昭和二年三月三十一日公布法律第三十五號公益質屋法抄錄

第一條第二項

公益法人公益質屋ヲ經營スル場合ニ於テハ業務所ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第十一條第一項

流質物ハ競争入札ニ依リ之ヲ賣却スヘシ

第十三條 流質物ノ賣却代金ヨリ元金及利息ニ相當スル金額

竝ニ命令ヲ以テ定ムル手数料ヲ控除シタル殘餘金ハ之ヲ質置主ニ交付スヘシ

流質物ヲ一括シテ賣却シタル場合ニ於ケル各流質物ニ對スル代金ノ計算ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

米及粳ノ輸入税免除ノ件廢止

勅令第二百五十九號 (昭和二年八月十二日)

昭和二年勅令第十七號ハ之ヲ廢止ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ本令施行前本邦ニ輸入ノ目的ヲ以テ既ニ買付契約ヲ爲シ又ハ本令施行ノ際現ニ本邦ニ向ケ輸送ノ途ニ在ル米及粳ノ輸入税ハ昭和二年十月三十一日迄之ヲ免除ス